

2012 大宮アルディージャ サポーターズミーティング議事録

[2] 質疑応答: チーム強化・育成について

司会者: ありがとうございます。続きまして次のプログラムに入らせて頂きます。皆さまから事前に頂きましたご質問に関しては、お手元の資料にあるようにいくつかのカテゴリーに分けさせて頂きました。まずクラブより、カテゴリーごとに質問の回答をさせていただき、その都度、質疑応答をさせていただきたいと思います。質問のある方は挙手にてお願いいたします。ご質問をいただける方については、司会の私からご指名をさせていただきます。なお、時間に限りがございますので、質問につきましては数名に限らせて頂きます。ご協力をお願いします。まず、チーム強化につきまして GM の岡本よりご説明させて頂きます。こちらにつきましては、先程すでにご説明させて頂きましたので、早速質疑応答の方に入らせて頂きたいと思います。ご質問がある方、挙手をお願いいたします。ではそちらのお客様、お願いいたします。

質問者 1-1: 質問させて頂きます。先程の話の中で、終盤追いつかれて勝ちきれないというお話がありましたが、その改善点というものはあるのでしょうか。僕の考えを言わせて頂ければ、鈴木監督に責任があると思っています。僕が見ている場合だと失点直前に選手の交代が遅れていた、全試合観ていても選手の交代が遅い、もしくはプランがあるのか無いのかさえもわからない。で、敢えて、来期の鈴木監督を契約したということですがけれども、その点についてお話を聞かせて頂きたい。

岡本 GM: ご質問ありがとうございます。まず一点目の失点ということなのですが、それについてはやはり攻撃的に行った前半に対して、サイドバックのスペースというところが非常に空いた、そこを突かれているということで、監督の修正が必要ではないかということも分かります。それについては、監督ともシーズン途中で話をしまして、終盤の戦い方というところで、やはりそのサイドバックの上昇したスペースであったり、全体のバランスというところで、得点した後の守備というところでは、選手に徹底した指導をして、少しずつでも改善が出来たらと感じております。それから、選手交代というところでは、鈴木監督の中の意図としては、やはり今一番信頼できる 11 人をピッチに立たせるという考えが一番強いという風に思っております。ですから、その 11 人で出来る限り勝利を目指してやるというところはあると思います。そのことによって、少し遅れてという結果になって、結果的にはやられているというところもあるとは思いますが、それについてはやはり全体のリーグを通しての戦い方というところで、鈴木監督を信頼している部分がありますので、鈴木監督にまたやって頂きたいという風に考えております。鈴木監督を決めた理由として、継続するかというところが一番ではないと思います。私が考えている継続する理由としては、一番目はやはり勝点 50 を目指すためには誰にやってもらうかというところが一番のポイントだと思っていました。それには何人かの監督候補がいましたが、それはリーグ戦終わった時点なので何名かいた監督候補の中で、鈴木監督にやっていただくことが勝点 50 を取るためには一番確率が高いと考えました。鈴木監督ありきではなくて、ほかの監督も含めた中で、他のチームではいろんな監督が交代しました。そのことによって、チーム編成が遅れているというのが非常に大きくあります。私としてはチーム編成、まずは監督というところからチーム編成で連れてきた選手が出られないということが一番不幸だと思っております。そういったことを考えた上で早く監督を決めて、次のチーム編成に取り掛かることが勝点 50 を取るためには最善だという風に考えて、今回鈴木監督を続投させていただくような形を取りました。以上です。

2012 大宮アルディージャ サポーターズミーティング議事録

司会者: 次の質問に移らせていただきたいと思います。真ん中のお客様お願いいたします。

質問者 1-2: こんにちは。今回初めて参加させていただきました。チームの強化というところなんですけれども、ここにも書いてある通り、強力な選手が放出されてしまっているということ、特に石原選手ですね。昨年東選手は確かに大活躍していました。で、チョンス選手、石原選手が点を取っているにも関わらず、契約出来なくて放出してしまっているということもありましたし、あとアルディージャの弱点として私が常に思っているのは、新参者に弱い。いわゆる J2 から上がってきたチームに弱い。昨年のアビスパ福岡、2 敗していますよね。ここを勝てば 6 点取れたんですよ。プラス、アウェイの甲府同点でしたよね。これで 3 試合とれて 51 なんですよ。J2 の試合ってご覧になってます？皆様。アルディージャの選手ってミドルシュートが少ないんですよ、得点シーンは、J2 は凄いですよ。何でこれだけ打てるか考えてみました。J1 にいるからといって、ぬるま湯に浸かっている状態に見えてしまいます。で、今回、鳥栖上がってきて、コンサドーレレ上がってきましたよね。FC 東京がまた J1 復帰して開幕戦ですよ。もう正念場とっております、私。そのあたりの考えをお聞かせいただけますか。

岡本 GM: 貴重な意見ありがとうございます。まず新参者に弱いというところでは、やはり年間を通して安定した戦いを出来ていないというのが、今の成績にあると思っております。それについては、去年もそうだったのですが、連勝することが出来ない。連敗は 1 回だけだったのですが、連勝することが出来ない。やはり強いチームというのは、どんなに厳しいゲームでも、引き分け、勝ちに持っていったりと、そういうところでは連勝出来ないということが実力が無いひとつの基準だと思っております。それについては先程お話がありました、チーム、試合によって安定した戦いが出来ないことによって、福岡戦もそうですけど、そういった中で失点をしてしまうということが大きいなと思っております。やはり全体的な実力というところで、安定して力を出せるようなチーム編成及び、戦術を構築していくことがその次のステップであるというふうに考えております。そういったところで、本当にたればの話、福岡に勝っていればもっと上に行けるかもしれない、それはやはり 1 年通しての実力だと思っております。それについては本当にまだまだ実力不足というところで、レベルを上げていくことが勝利へ繋がることだと思っております。先程守備というところでも、個人のところで解決出来るところももっと増えれば、もしかしたら失点を防げたところはあったかと思っております。ですから我々としては、選手をしっかり捉えて監督もしっかり戦術面を充実させて、よりレベルの高いチームを作っていくことが、勝点 50 以上を取るチームを作るために、一番必要であると思っております。そういったことは常々 J2 の試合は私も観に行っています。足りないところを補っていけたらステップアップしていけるという風に考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

司会者: 次の質問がございました方、挙手をお願いいたします。

質問者 1-3: チームの強化を通じて、例えば公式戦でもそうなんですけど、トレーニングマッチとか練習試合でチームの強化を図るということもあると思うんですけど、今年、巷の報道ですと、J1 は基本土曜日、J2 は日曜日に開催されるということになっているんですが、そうなると基本公式試合の翌日にトレーニングマッチとかやっているはずだと思うんですが、J2 のトレーニングマッチとか組めなくなりますよね。やっぱりそういう練習試合って基本的に強い相手の方が強化になるので、例えば、JFL と J2 だったら J2 の方がいいし、大学のチームでの 1 部と 2 部だったら 1 部

2012 大宮アルディージャ サポーターズミーティング議事録

の方がいいと思うんですね。そのへんでどういう風な対策を練っているのか。例えば、サテライトリーグとか廃止になってしまってそういったところで強化は図れなくなってしまったけれども、例えば他のクラブなどはチーム独自でリーグを作っていると思うんですね。参考でいくと、関西行けば関西ステップアップリーグとか九州のチャレンジリーグとかって、地域でリーグを作って強化を図っているという現状なんです。アルディージャとしてはそういうことを、アルディージャが中心となってそういう構想はあるのか無いのかというのと、もうひとつ、トレーニングマッチに関してなんですけれども、当然強いチームとやったほうがいいわけですが、詳しいデータがここに無いので、根拠がないので、ここで言うのはちょっと乱暴かと思うんですけれども、正直例えば、アルディージャの近辺のチームとうちのチームのトレーニングマッチの相手と比べると、やっぱり相手チームのほうが弱かったりするんですね。FC 東京とか浦和さんとかで、ひとつの例を出すと、間違っていたら大変申し訳ないのですが、去年の夏場くらいに関西大学とトレーニングマッチをやっていたと思うんですけれども、その日の同時刻に横浜 F・マリノスも一緒に関西大学でやっているんですね。これは段取りが分からないのですが、横浜 F・マリノスのほうが一軍で、うちは二軍だったという話を聞いたんですね。これがもし事実だとすると、簡単に言えば現場の目玉としてはうちのクラブは少し低く見られているのかなと思ったりもしたので、そのへんを含めて現状の課題点と、今後の対策というかやり方をお聞かせ願いたいなと思うんですけれども。

岡本 GM: 貴重な意見ありがとうございます。練習試合についてというところでは、やはりレベルの高いチームとやりたいということはクラブとしての思いではあります。ただ、今回 J1 が土曜日、J2 が日曜日開催ということで、J2 のチームは練習試合が出来ないということはスケジュール絡みで把握はしているつもりです。ですからなるべく早く、特に関東というところは大学生も含めて JFL も含めて対戦チームが少なくはないので、早くアプローチをして練習試合を組めるようにと考えております。さきほどお話がありました練習試合の関西大学がマリノスのほうがトップチームだったのではということは把握をしています。あの時は、練習試合をどうしてもやりたいという思いが一番にありまして、練習試合ということを考えたときに、関西大学が一番可能性があったということで、関西大学とやらせていただきました。今後のところでは、以前、流通経済大学と浦和レッズとうちと筑波大学の 4 チームくらいで交流戦みたいなものがあるんですが、それについてはチャンスがあればまたやりたいと思っております。ただ今、我々のチーム編成の話を見せて頂くと、若手というところが今非常に少ない状況になっています。本来ならば、と、若手を鍛える試合を公式戦に関係なく組めれば年間安定して試合をやるということがメインになってくると思いますが、今はどちらかというに出てない選手の試合勘を無くさないようにというところが非常に強くなってしまっています。チーム編成ということでもしっかり考えて強化していかなければいけないという風に考えております。

誠にありがとうございました。